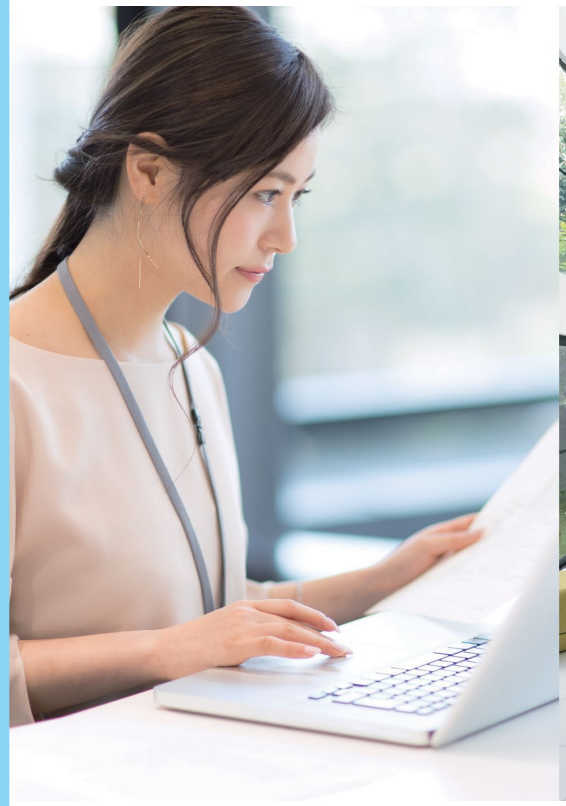
PLUS Furniture Company



生産性向上やコミュニケーション活性化にも効果あり！

社員の働き方を変える
オフィスレイアウト

目 次

はじめに ---------- 2 ページ

第 1 章：対向式レイアウト編 ---------- 3 ページ

【事例紹介 】住友林業クレスト株式会社様

第 2 章：フリーアドレス編 ---------- 5 ページ

【事例紹介 】グローバルセキュリティエキスパート株式会社様

第 3 章：ブ ース型レイアウト編 ---------- 7 ページ

【事例紹介 】株式会社壽屋様

第 4 章：背面対向式レイアウト編 ---------- 9 ページ

【事例紹介 】ＦＤＫ株式会社様

※ 無断転載、再配布、編集を禁止します。

はじめに

近年、働き方改革の動きが広まってきたこともあり、オフィスのあり方を見直す企業が増えてきました。業務の合間の休憩時間にしっかりリラックスできるよう、カフェスペースを設置したり、ちょっとした打ち合わせや集中ワークなど多目的に使えるラウンジを作ったりというのは、その代表的なものといえるでしょう。

こうしたオフィス機能の強化は従業員の働きやすさに配慮するだけでなく、より集中して生産性の高い仕事ができるようになるという効果があります。ただ、さらに業務効率にこだわるのであれば、業務時間の大部分を過ごす執務室のレイアウトにもこだわってみましょう。

オフィスのレイアウトにはさまざまな形式があり業務内容や職種、社内の雰囲気によって適したレイアウトは変わります。ごく一般的なのは部署ごとに「島」と呼ばれるグループを形成する方式ですが、業務内容によっては必ずしもそれが業務効率を最大化するレイアウトとは限りません。

レイアウトを少し変えることで、業務効率の改善だけでなく社内コミュニケーションの活性化にもつながるため、社員の働き方を踏まえて適切なものを選ぶようにしましょう。

この資料では、オフィスのレイアウトとして代表的な4つのタイプを紹介し、それぞれどのような特徴があるのか、またどのような職種や働き方に適しているのかを、最新事例とともにご紹介します。

最も基本的なレイアウト

部署ごとにデスクを固めて「島」と呼ばれるグループを形成し、お互いの顔が見えるよう対向させて配置するレイアウト形式です。「島型」とも呼ばれ事務職や営業職などさまざまな職種で使われている汎用性の高いレイアウトです。

このレイアウト形式を採用するメリットは、部署ごとにデスクがまとまっているため、メンバー同士のコミュニケーションが取りやすいことにあります。顔を上げればすぐ目の前に同僚がいるため、ちょっとした書類の受け渡しや情報の共有もスムーズです。また、部署の上長のデスクを左右どちらかの端に置くことで、メンバーの働く姿を見渡しやすいという管理上のメリットもあります。業種や職種を問わず導入できる、もっとも基本的なレイアウト方式といえるでしょう。

レイアウトイメージ

【ポイント①】このレイアウトのメリット

- 最も基本的なレイアウトで、あらゆる職種に対応できる
- 部署ごとにまとまりやすい
- 上長が部署メンバーの働く姿を見渡しやすい

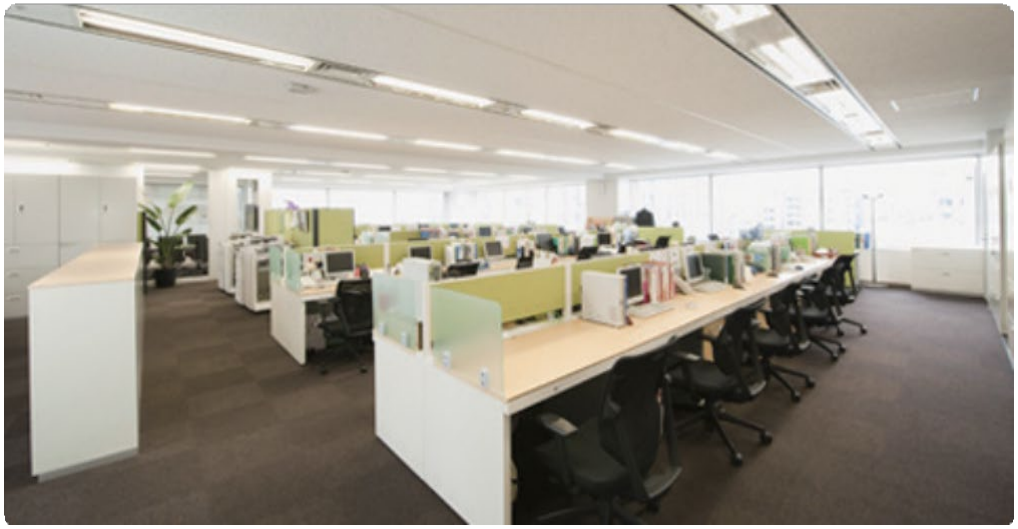
【ポイント②】こんな場面に最適！

- 総務や営業など、事務作業を行う部署全般
- 部署ごとのまとまりを重視したい場合
- メンバー同士のコミュニケーションを活性化させたい場合

【事例紹介】住友林業クレスト株式会社様

建材メーカーである住友林業クレスト株式会社様は、オフィス移転にあたり対向式のレイアウトを選択しました。同じフロアでリフォーム業務を行うグループ会社の住友林業ホームテック株式会社様とも担当者間ですぐにコミュニケーションが取れるなど、フレキシブルでスピード感のある業務の遂行が可能になっています。

また、エントランスや商談室には、同社の商品である建材を使用し、企業イメージを体現するオフィスが実現しました。



広々とした執務室にはフットフリーの大型デスクを導入

事例データ

社名：住友林業クレスト株式会社様

オフィス面積：280m²（＋共用部150）

入居者数：47名

内容：オフィス移転

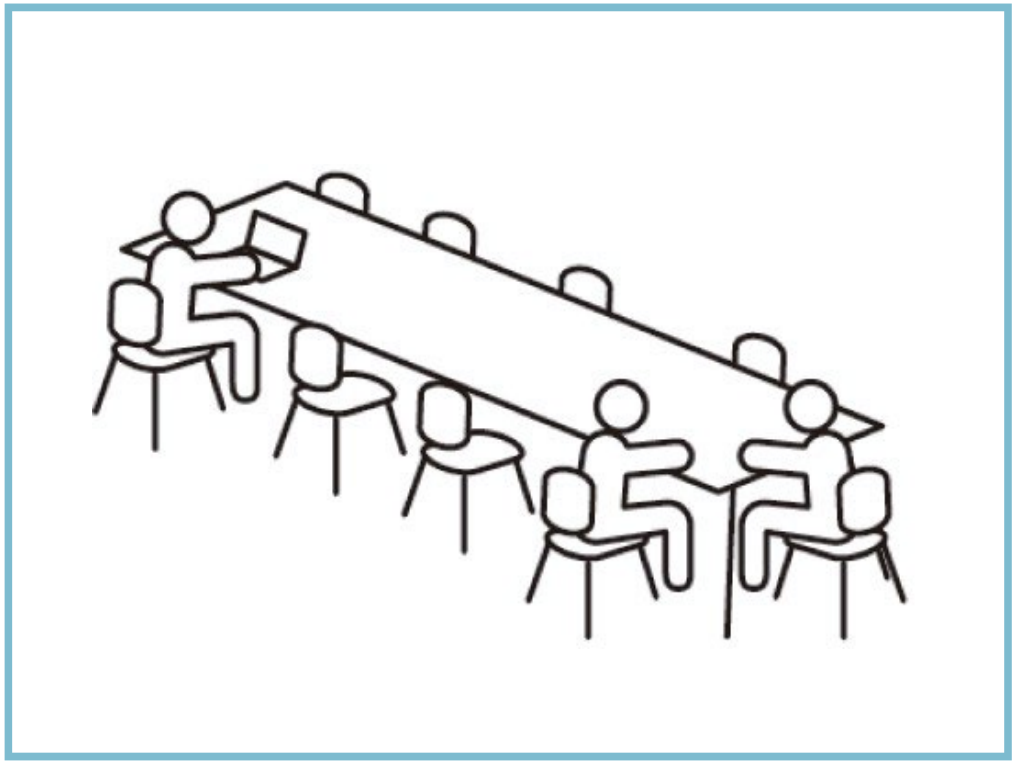
※本事例公開時の情報です。

その日の気分で自由に座れる

厳密にはレイアウト方式ではありませんが 、 社員のデスクをあえて固定せず作業内容やその日の気分にあわせて、社員自身が自由に座る場所を決めるフリーアドレスでの運用も近年注目を集めています。毎日違う場所に座ることで、フレッシュな気持ちで仕事に向かえるほか、違う部署や役職の人とも隣同士になることで社内コミュニケーションの活性化につながるといったメリットがあります。

また、営業職や時短勤務などの社員が多いなど、時間帯によって在席率が一定しない場合は、フリーアドレスにすることでスペースの効率化を図ったり、オフィス面積を最適化してコストを抑えたりすることも可能になります。業務にあわせて部分的に導入したり、集中して作業をするためのブース席と併用するなど、柔軟にレイアウトを構築できるのも特徴です。

レイアウトイメージ



【ポイント①】このレイアウトのメリット

・毎日フレッシュな気持ちで仕事に向かえる
・異なる部署、役職の社員ともコミュニケーションが生まれやすい
・自由でフレキシブルなオフィス環境を実現できる

【ポイント②】こんな場面に最適！

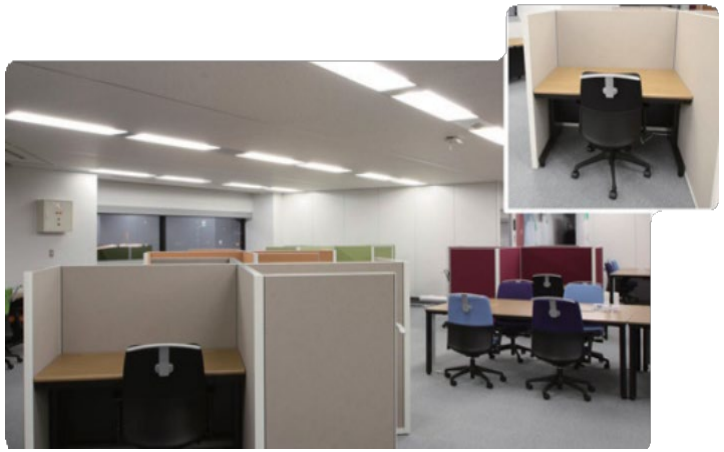
・時間帯によって社員の在席率に差があるオフィス
・広いスペースを必要とする作業が多い職種
・個人で多くの書類を抱えない職種

【事例紹介】グローバルセキュリティエキスパート株式会社様

情報セキュリティ専門のコンサルティング会社であるグローバルセキュリティエキスパート株式会社様では、オフィスの移転に合わせてフリーアドレス制を導入。

通常のテーブル席だけでなく、集中して仕事をするためのブースやコミュニケーション活性化のためのソファスペースを配置するなど、シーンに合わせて使える複数のレイアウト方式を組み込み、同社が目指した「明るくのびのびと仕事ができる空間」を実現させています。

テーブルやチェアの色にも配慮されたオフィス空間



部分的に集中ブースを設置し、業務に合わせて使い分けできる

ソファスペースはコミュニケーションの場に

事例データ

社名：グローバルセキュリティエキスパート株式会社様

面積：７４３.７１㎡

入居者数：90名

内容：オフィス移転

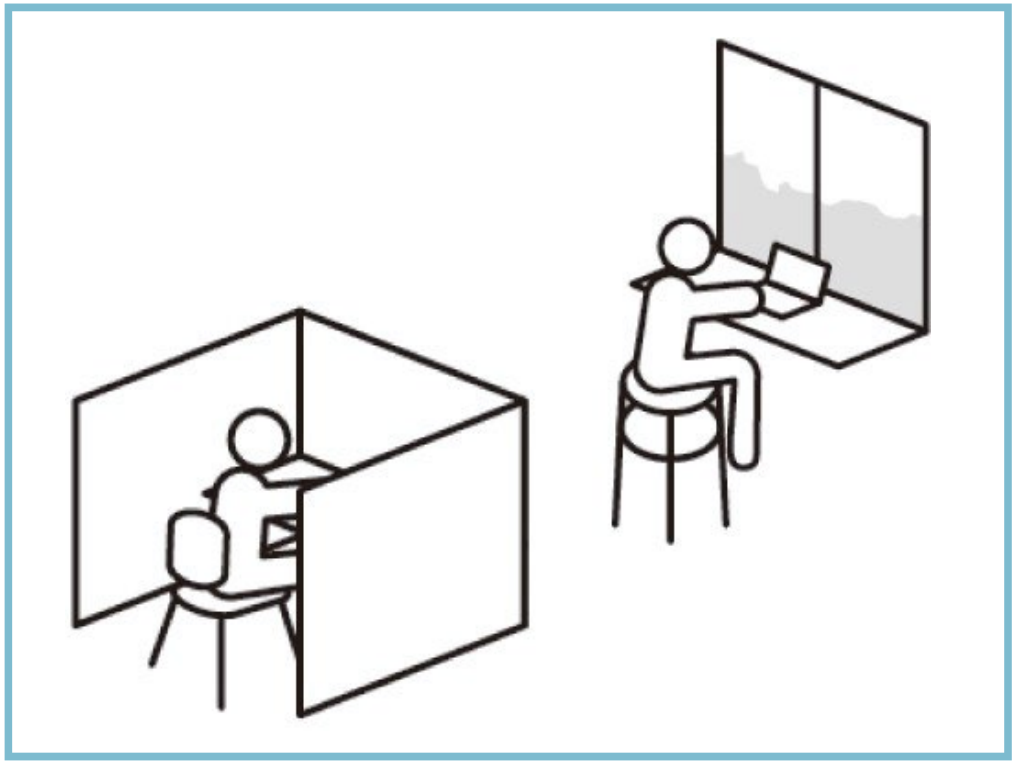
※本事例公開時の情報です。

高い集中力を求められる職種に

デスクの周囲をパーティションや壁などで囲い、小部屋のようなブースを構築するレイアウト形式です。周囲のノイズや視線を気にすることなく目の前の作業に集中できるため、プログラマーやデザイナーなど、高い集中力を必要とする職種に適しています。ある程度のコミュニケーション性を確保したい場合は、パーティションの高さや位置を変えたり、次に紹介する「背面対向式レイアウト編」と組み合わせたりすることで、近くの社員と会話できるようレイアウトを調整することもできます。

反面、デスクを一つひとつブースで覆うことになるため、他のレイアウト形式に比べて空間効率が悪くなる点には注意が必要です。オフィス全体を「ブース型レイアウト」にするのではなく、高い集中力が必要な職種に限って導入するといいでしょう。

レイアウトイメージ



【ポイント①】このレイアウトのメリット

・周囲からのノイズや視線を防ぐことで、集中して業務に取り組める
・パーティションの高さや配置を変えて、コミュニケーションを取りやすくすることも可能
・他のレイアウト方式とも組み合わせやすい

【ポイント②】こんな場面に最適！

・クリエイティブ職やプログラマーなど、高い集中力を必要とする職種
・個人での作業が多い職種

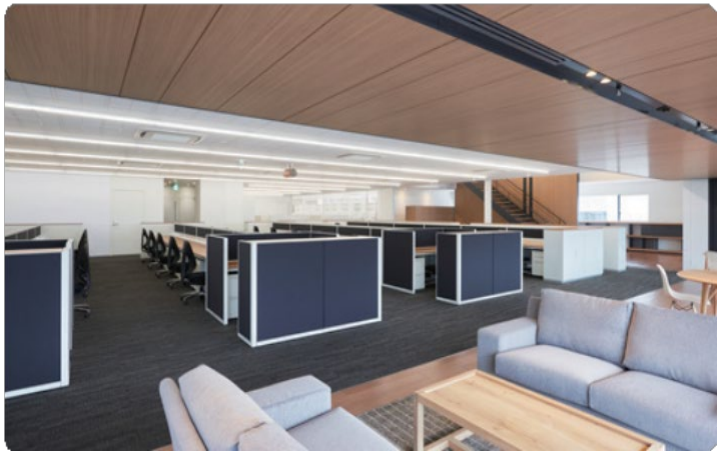
【事例紹介】株式会社壽屋様

フィギュアやプラモデルの企画、製造、販売を行う株式会社壽屋様では、CADによるデザイン・設計を担当する部署にブース型レイアウトを採用しています。同社のレイアウトの特徴は、ブース席を原型室（フィギュアなどの原型を手作業で制作するための部屋）のすぐそばに配置していること。

オペレーターが高い集中力を持って業務に取り組めるのはもちろんのこと、さらに連携頻度の高い部署とのスピーディーなコミュニケーションを重視したレイアウトを実現しています。

原型室のすぐそばに配置されたブース席

メーカーの核ともいえる原型室はオープンなガラス張りに



執務室は個のスペースを優先してゆったりとした設計

事例データ

社名：株式会社壽屋様

面積：６１０８.６４㎡

入居者数：180名

内容：オフィス移転

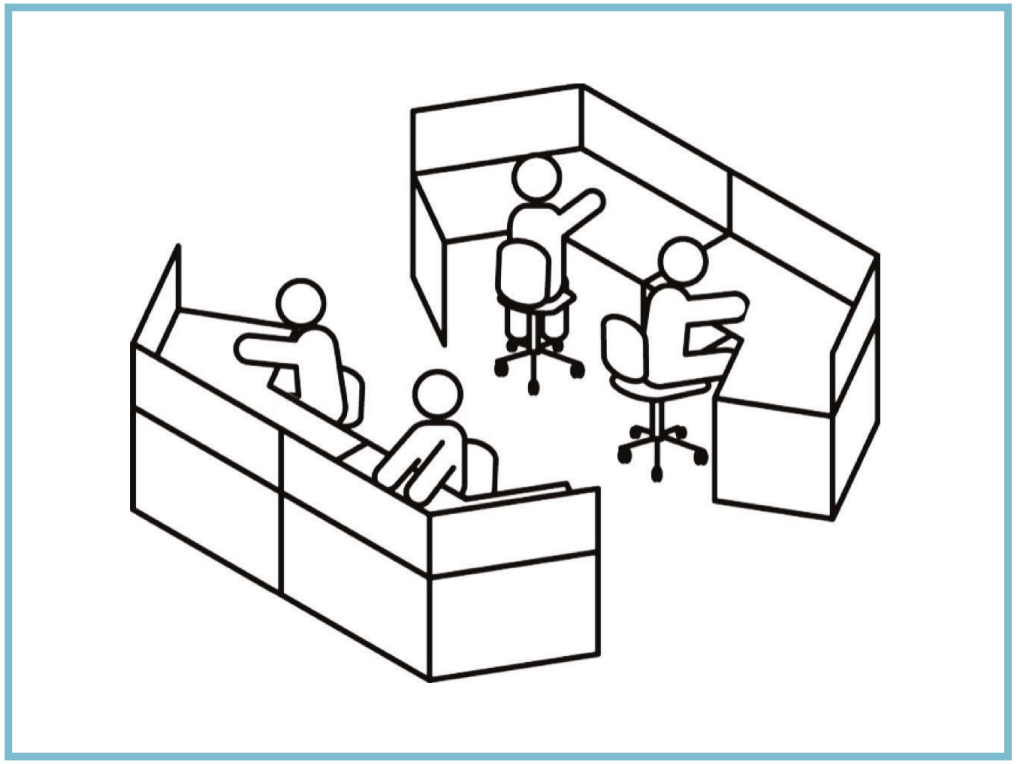
※本事例公開時の情報です。

集中とコミュニケーションを両立

社員が一人ひとりが集中して作業できる環境を作りたいが、同時にメンバー同士のコミュニケーションも重視したい。そんなときは、この「背面対向式レイアウト」を検討してみてください。

デスク天板を変形（角度をつけ）正面から向き合わず視線をずらすことでお互いの視線を気にすることなく高い集中力を維持できるうえ、業務上のちょっとした確認などコミュニケーションが必要な時は、振り向くだけでメンバーと会話することができます。中央にテーブルを置けば、ちょっとしたミーティングもできるなど、まさに「対面式レイアウト」と「ブース型レイアウト」のいいとこどりを目指したレイアウト方式といえるでしょう。

レイアウトイメージ



【ポイント①】このレイアウトのメリット

・個人が集中できる空間とチームのコミュニケーションを両立できる
・チーム専用のミーティングスペースが持てる
・プロジェクトごとに柔軟に配置が可能

【ポイント②】こんな場面に最適！

・プロジェクトごとにチームを形成する職種
・企画や開発など、チームでの作業が多い職種
・メンバー間のコミュニケーションを重視したい場合

【事例紹介】FDK株式会社様

FDK株式会社では、社名変更にともないオフィスのリニューアルを行いました。約1　年に渡るリニューアルプロジェクトを経て採用されたのが背面対向式のレイアウトです。

同社では業務特性上、大型のディスプレイが必要となりますが、両サイドに翼のように広がるデスクを採用したことで、周囲の視線を気にせず業務に集中できる環境と、ちょっとした打ち合わせや情報共有がしやすい環境を実現しています。

背面対向式レイアウトが採用されたオフィス全景

事例データ

社名：FDK株式会社様

内容：オフィスリニューアル

※本事例公開時の情報です。

PLUS Furniture Company

https://kagu.plus.co.jp/

働き方のヒントを探すオフィス見学

プラス　オフィス見学

※ 無断転載、再配布、編集を禁止します。
Copyright PLUS Corporation. All rights reserved.